

学校経営の理念と基本方針

110周年を祝い、3年が経過した。私たちは沼ノ端小学校の輝かしい伝統と、優れた校風を受け継ぎ、未来に生きる子どもたちのための最も望ましい教育の方向を洞察し、教職員・児童が一体となって英知と熱意を結集し、充実した教育活動を展開していく。教職員一人一人が自己啓発・相互啓発に努め、明確な目標とゆきとどいた計画のもとづき、各学年・学級および各分掌間の緊密な連携のもとに、質の高い教育活動を推進していき、沼ノ端小学校教育の一層の進展を果たしていくことを基底に置く。

我が国のこれまでの教育は、国民の高い熱意とたゆまぬ努力によって支えられ大きな成果を上げてきた。しかしながら、近年、教育を巡る課題は山積し、社会総掛かりでの解決に向けた取り組みが肝要となっている。また、不透明で変化の激しい社会に対応するには、新しい知識・技術・情報の必要性が一層高まっている。

これまでの社会の必要性に対応するためには、与えられた情報を短期間に理解し、再生し、反復することが期待されていた。しかし、知識基盤社会の到来においては新しい知や価値を創造する能力が求められている。また、グローバル化の時代にあっては激しい人や物の移動が常態化していく。それに伴い、異なる文化との共存や国際協力の必要性も増していく。

そのために、これからの社会を生き抜いていく子ども達には、自ら課題を発見し解決していく力、コミュニケーション能力、自分の考えを表現していく力、情報リテラシーの能力などが求められる。このような社会構造の変化の中にあって、次代を担う子ども達には、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和を重視する「生きる力」の育成がますます重要となる。

学校は、児童が集団の中で学び、育ち、成長していく場である。そして、子ども達一人一人が集団での所属感を強め、お互いを認め合い、自分を高め、磨き上げる集団でなければならない。互いに切磋琢磨しながら、生涯にわたって学び続ける子を育成することが学校の使命であり、この実現に向け、以下の経営理念と方針のもと学校教育目標を具現し学校経営を推進していく。

学校経営の理念

- 互いを思いやり、学ぶ意欲を高め、豊かな心とたくましい心身を持ち、未来に向かってたくましく生き抜く子どもを育成する学校教育を創造する

経営の基本方針

- 自分の良さを主体的に発揮する児童の育成
- 自主性・自律性を高め、創意を生かした学校づくりの推進
- 家庭・地域との連携を深め、子ども達の生活の充実を図る教育の推進
- イノベーションに溢れた、支持的風土の醸成と協働体制の確立
- 内にも外にも開かれた学校づくりの推進

学校教育目標

◎ 進んでよく考える子ども（知）

個性を大切にし基礎的・基本的能力を身につけると共に創造力を養う

◎ 力を合わせてやりぬく子ども（徳）

がまん強く、最後までやり抜く強い心と豊かな心を持って協力しあう

◎ 健康で明るい子ども（体）

健康と安全につとめ、明朗快活な精神とたくましい身体を養う

（昭和57年4月 改定）

学校の教育目標は、その学校が行う全教育活動を通して実現すべき目標であり、全ての教育活動を方向付け、統合するための重要な指針となる。公教育として法律の条文や教育課題を土台としながら、教育実践の主体としての学校が教育目標を設定するわけであるが、その過程や結果を通じて全教職員が教育目標の理念を正しく共通理解をしていなければならず、学校・地域特性への十分な配慮が必要である。

公教育の系統性を保ちつつ、地域の特性を盛り込み、子ども達にもわかりやすい教育目標から、学校独自の「らしさ」を求めていくためには、目標をどう解釈するかにかかってくる。そのことは、地域との連携の中で子ども達をどう育てていくかという「開かれた学校」づくりにも通じる問題である。毎年の変動により職員構成が変わる学校と、何代にも渡って地域に住み着いている人とのギャップが大きいほど、教育目標がスローガン化していくことは目に見えている。地域との距離感をなくしていくには、「子育ての共通認識」を持つことであり、その指針としての教育目標は、公教育という系統性に立ち、子どもや地域社会についての実態および家庭・地域社会の教育要求を踏まえ、時代の息吹を感じるものでなければならない。

次に、変化の激しい社会を担う子ども達に必要な力は、基礎、基本を確実に身に付け、いかに社会が変化しようとも自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく解決する資質や能力、自らを律しつつ、他人と共に協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性、たくましく生きるための健康や体力などの「生きる力」である。

こうした理念を踏まえ、確かな学力を育成するためには基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得し、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力などの能力を育むことが重要である。また、子ども達に求められている豊かな人間性とは、美しいものや自然に感動する心などのしなやかな感性、正義感や公正さを重んじる心などの基本的な倫理観、他人を思いやる心や社会貢献の精神などであり、このような心の教育の充実を図ることが大切である。さらに、体力は人間活動の源であり、精神面の充実を支える大きな要素である。体力、食育、安全、情報モラル、いじめなど多岐に渡る指導により健康で安全である生活を営むために必要な資質や能力を育成し、心身の調和のとれた「健やかな体」育てることが重要である。

子ども達が本校で培った「進んでよく考え」「力を合わせてやりぬく」「健康で明るい」子ども像こそ、未来を切り拓く沼ノ端小学校の子ども一人一人の道標である。

北海道教育の基本理念

自然豊かな北の大地で、自立の精神にあふれ、夢や希望の実現に挑戦し
これからの社会を担う人を育む 【 ⇒ 自 立 】

心豊かに、ともに支え合い、ふるさとに誇りを持つ人を育む
【 ⇒ 共 生 】

1 社会で生きる実践的な力の育成

基本方向1 生きる知恵につながる確かな学力を育み自立した生き方を
支える教育の推進

基本方向2 社会の変化に対応し、新しい時代を切り拓く力を育む教育
の推進

2 豊かな心と健やかな体の育成

基本方向1 豊かな人間性と感性を育む教育の推進

基本方向2 心身の健やかな成長を促す教育の推進

3 信頼される学校づくりの推進

基本方向1 魅力ある学校づくりの推進

基本方向2 教員に対する信頼性の向上

4 地域全体で子どもたちを守り育てる体制づくりの推進

基本方向1 家庭の教育力の向上への支援の充実

基本方向2 地域で子どもたちを育てる環境づくりの推進

5 北海道らしい生涯学習社会の実現

基本方向1 学んだ成果を生かす生涯学習の推進

基本方向2 潤いのある地域づくりをめざす社会教育の推進

基本方向3 文化・芸術活動の推進

基本方向4 健康づくり、スポーツ活動の推進

胆振教育のめざす姿

胆振教育推進の指標

自らの可能性を求め、心豊かにたくましく生きる人間の育成

総括重点

- ◇主体的に学び、ともに支え合い、ふるさとを愛する人を育てます
- ◇学校・家庭・地域が連携を強化し、豊かな学びの環境をつくります

重点

- 重点1 地域の信頼に応え、創意ある学校づくりの推進
- 重点2 自ら学び自ら考える力の育成
- 重点3 豊かな人間性と健康な体の育成
- 重点4 家庭、地域で子どもを育てる環境づくりの推進
- 重点5 胆振のよさを生かす潤いのある生涯学習の創造

苦小牧市教育目標

1. 強じんな身体と豊かな教養をもつ文化人
2. 道義を重んじ進んで住みよい郷土を建設する社会人
3. おう盛な開拓精神と勝れた科学技術をもつ生産人

(昭和28年8月制定)

教育推進の指標

未知なるものに果敢に挑戦する自立の精神にあふれ、連帯と共生で豊かな心と活力にあふれる人を育てる

< 自立・連帯・共生 >

総括重点

社会の変化に柔軟に対応し、主体的に学ぶ意欲と豊かな人間性を持ち、郷土を支える人を育てる
人と人との連帯する活力のある学びの環境づくりと、学びを生かしたひとづくり、まちづくりに努める

◎教育推進の重点

《重点1》一人一人のニーズに応じた確かな学力をはぐくむ教育活動の充実に努める
(個に応じた指導で生きる力を育む)

《重点2》豊かな人間性と健康な体の育成に努める
(道徳教育、体験的な活動、生徒指導の充実)

《重点3》学校・家庭・地域社会が連携し、地域に信頼される学校づくりに努める
(開かれた、信頼される学校づくりの推進)

《重点4》家庭、地域で子どもを育てる環境づくりの推進に努める
(家庭や地域の教育力の向上)

《重点5》郷土のよさを生かした潤いのある生涯学習の推進に努める
(学びの成果を生かした生涯学習の充実)

学校課題

確かな学力の定着と体力の向上

【学校課題設定の趣旨】

全国学力・学習状況調査やチャレンジテストの結果からも、本校においては指導や取組の成果が実を結びつつある。継続と徹底により基礎的・基本的事項を確実に習得させることに加えて、学んだ知識や技能を活用する力を付けさせることで確かな学力として定着させたい。

その一方で、体力についての取り組むべき課題は多い。体育授業の改善を基軸に体力の向上に取り組みたい。

めざす姿

めざす学校

- 質の高い学びを保障する学校
- 活力と思いやりに溢れた学校
- 保護者・地域に開かれ、信頼される学校

めざす子ども

- 高い意欲をもち、ねばり強く学習する子ども（かしこく）
- 互いを思いやり、協力し合える子ども（やさしく）
- 心も体も健康で、強い意志をもった子ども（たくましく）

めざす教師

- 愛情に溢れ、規律には厳しい教師
- 授業改善に取り組み、研究を大切にする教師
- 児童・保護者・地域を大切にし、信頼される教師

なによりも、教育の成否を最終的に決定するのは教師の在り方である。児童につまずきがあれば、指導に何か問題はなかったかと、まず自らを反省することから改善の糸口が生まれる。その反対に、責任の所在を他に転嫁してしまえば解決の道は自ずと閉ざされてしまう。教師は指導の結果を真摯に受け止め、改善をくり返し、児童の小さな一歩を見逃さず、認め、積み重ねていくことが何より重要である。このような実践を日々、根気強く継続できる教職員、学校を目指していく。

経営の重点と視点及び方策

1. 信頼される学校づくりの推進

視点1. 経営参画意識の向上と学校力の強化

- 方策① 支持的風土を基盤とした協働体制
- 方策② 自己目標シート、面談等による自己啓発と教師力の向上
- 方策③ 運営委員会の充実と経営参画意識の向上

視点2. 授業改善、指導力の向上をめざす実践的研修活動

- 方策① 積極的な授業公開による授業力の向上
- 方策② 授業改善推進チームの活用と授業力の向上
- 方策③ 公開研究会の開催と積極的な研修会参加

視点3. 学校の安全・安心を守る危機管理体制

- 方策① 安全点検日における安全点検の徹底と日常的な安全管理
- 方策② 危機管理マニュアルの検証と活用
- 方策③ 職員のモラル向上と服務規律の厳守

2. 「生きる力」を育む教育の推進

視点1. 社会に開かれた教育課程

- 方策① 特色ある教育課程の編成・実施・評価
- 方策② 基礎的・基本的知識・技能の確実な習得
- 方策③ 豊かな人間性を育む体験的活動の充実

視点2. 子どもたちのよさを生かし、可能性を伸ばす学年・学級経営

- 方策① 「校内生活のきまり」「校外生活のきまり」の指導の徹底
- 方策② 支持的風土の醸成と、自尊感情の育成
- 方策③ 家庭との連携を大切にした学年・学級経営

視点3. 地域に根ざした学習活動

- 方策① 地域連携学習委員会の充実
- 方策② 伝統的な体験活動の充実
- 方策③ 幼保・小・中の連携の充実

3. 確かな学力の定着と体力の向上 <学校課題>

視点1. わかる授業づくり・のばす授業づくりと学力の向上

(全国学テ、統一学テ、チャレンジテストの結果を踏まえて)

- 方策① TT指導、習熟度別授業と個に応じた指導の充実
- 方策② 指導と評価の一体化による学習指導
- 方策③ 学習規律(「沼小スタンダード」)の確立と家庭学習の習慣化

視点2. 言語活動の充実と読書活動

- 方策① 思考力・判断力・表現力を高める言語活動
- 方策② 校内言語環境、掲示、発表などの充実
- 方策③ 創意ある読書活動の推進と読書量の増加

視点3. 体力の向上

- 方策① 新体力テストの実施と結果の活用
- 方策② 日常の体力づくり
- 方策③ 体育授業の工夫・改善

4. 豊かな心と健やかな体の育成

視点1. 道徳教育の充実

- 方策① 特別な教科道徳の移行への対応と道徳指導の充実
- 方策② 「私たちの道徳」の活用と豊かな体験活動を生かした道徳授業
- 方策③ 道徳の時間の実践交流と公開

視点2. 健康・安全教育の充実

- 方策① 交通安全・防犯・薬物・防災減災教育の充実
- 方策② 食育の推進と健康の保持増進に関する指導の充実
- 方策③ 実践的な訓練と危機管理体制の整備

視点3. 積極的な生徒指導

- 方策① 児童理解を基盤とした学級経営
- 方策② いじめ・不登校の未然防止と迅速・的確な対応
- 方策③ 定期的な調査と教育相談
- 方策④ 関係機関との連携など組織的に対応する校内体制

5. 共に支え合う教育の推進

視点1. 自他を大切に、共に支え合う人間関係の充実

- 方策① 人権と命の尊重を基盤とした教育の充実
- 方策② いじめ根絶に向けた指導の充実

方策③ アイヌの歴史や文化の理解を深める教育の充実

視点2. 特別支援教育の充実

方策① 子どもたちの特別なニーズに応える指導の充実

方策② 保護者、関係機関と連携した個別の支援計画の策定

方策③ インクルーシブ教育の充実

視点3. 特別支援学級の充実

方策① 障がいの特性に配慮したきめ細かな指導体制

方策② 通常学級との交流を深める指導の充実（「心のバリアフリー」）

方策③ エリアプロジェクトを活用した連携・情報共有・指導の充実

6. 新しい時代を切り拓く力を育む教育の推進

視点1. 情報教育の充実

方策① 情報活用能力を高める学習の充実

方策② 情報モラルの向上とガイドラインの充実

視点2. 環境・福祉教育の充実

方策① 環境やエコに関わる教育の充実

方策② 身近な自然に親しむ学習活動の工夫

方策③ 障がい者、老人、幼児等との関わりを大切にした教育の充実

視点3. 国際理解教育の充実

方策① 外国語教育の充実

方策② 国際理解、異文化理解教育の充実

7. 家庭・地域と連携する開かれた学校づくりの推進

視点1. 家庭・地域との協力と分担による学校経営の充実

方策① 学校だより、HP等の学校情報の発信・充実

方策② P T A活動の充実と家庭の教育力の向上

方策③ 地域行事へ児童、教職員の積極的参加

視点2. 開かれた学校づくり

方策① 学校評価、学校関係者評価の充実

方策② 「幼・保一小」「小一中」の滑らかな接続と連携

方策③ 参観日、学校行事の地域への公開

視点3. 歴史と伝統を大切にした教育活動

方策① 地域の学校としての役割の充実

方策② P T A、地域人材の積極的な教育活動参画